




# 庄内川浪漫

矢田・庄内川をきれいにする会 30周年記念写真集



「次代の青少年に  
きれいな水とあたたかい社会を」  
訴え行動した  
30年のアルバム

川の汚れは  
心の汚れ

庄内川をきれいにする会  
贈 菅田照由書





昭和49年、日本の経済は高度経済成長期のまただ中にあり、水も空気も汚れるのがあたりまえの時代でした。そんな折、毎日新聞に掲載された「庄内川シリーズ」に感銘を受け、自分達でもできることをしようと地域の住民が立ち上がりました。「川の汚れは心の汚れ」の標語もこの中からいただいたものです。当初「王子公害をなくす住民の会」の守山支部として活動し、「川から始めよう」と独立の会「矢田・庄内川をきれいにする会」を誕生させまし

た。初代丹羽会長のユニークな発想のもと、「次代の青少年にきれいな水とあたたかい社会」を残すため、闘争はしない、「明るく、楽しく、美しく」をモットーに活動を続けて今年、30周年を迎えることとなりました。

この機会に「川の汚れは心の汚れ」の看板立てを始め「食べられない魚釣り大会」など数々のイベントや他団体との連携の中で活動を支えてくれた、たくさんの皆様のその時々様子を写真集としてまとめました。

「住民と企業と行政が三位一体とならなければ川はきれいにならない」と言い続けて企業や行政とも協力し合い、また「庄内川は一本」と上流から下流まで多くの人々の協力も得ながら運動を進めてまいりました。まだまだ食べるには程遠いけれど鮎も生息し、サツキマスやアユカケも確認されるようになった庄内川、テレビ等でも報道され、市民の関心も少しずつ川に向けられ、子ども達が川で遊び、魚釣りを楽しむ親子の姿が見られるようになりました。「生みの親の毎日新聞、育ての親の中日新聞」、会は常に報道機関に後押しをしていただきました。

しかしながら水質は、まだまだ県内でも最悪の状態です。この現状から一歩でも前へ進み「次代の青少年にきれいな水とあたたかい社会づくり」を次代に引き継ぐため、これからも末永い運動を続けていくつもりです。ご指導ご協力をよろしくお願いします。また、丹羽前会長を始め亡くなった多くの支援者の方々に深く感謝と追悼を捧げます。





# 目次

■はじめに	1
■目次	2
■活動	
看板立て	4
つり大会〈食べられない魚つり大会〉	6
〈食べられるかもしれない魚つり大会〉	7
〈釣果〉	8
〈表彰〉	9
〈マスつり大会〉	10
〈うき作り・魚拓〉	11
鮎の救出作戦〈行動にでる〉	12
〈魚道を作る〉	13
放流〈鯉の放流・アマゴの放流〉	14
桜の銀行	15
〈植樹祭〉	16
〈観桜会〉	17
けいしょうの森〈立木トラスト〉	18
〈絵画展〉	20
石碑	21
いかだ下り〈ボートウォッチング〉	22
釣り大会年表	23
■協働と参加	
調査活動〈魚類調査〉	24
〈建設省(現国土交通省)の水生生物からみる水質調査〉	25
〈航空写真〉	26



参加イベント 〈リバーピア〉	27
〈エコストック、花・水・緑 市民ネットワーク〉	28
〈河川愛護月間〉	29
社会教育 〈会長による講演〉	30
テレビ出演 〈ドンキホーテ・WAKUWAKU・おはよう東海・市政ニュース〉	31
ビオトープ 〈庄内川下流・上流〉	32
〈愛知垂鉛〉	33
才井戸流	34
表彰 〈中部未来創造大賞〉	37
名古屋港を考える会	38
愛知の住民いっせい行動デー 〈水環境フェスタ'96〉	39

## ■ 歴 史

支えてくれた人たち 〈13周年記念当時〉	40
出版 〈13年のあゆみ〉	45
資料 〈王子製紙による廃水〉	46
〈土岐川・庄内川流域のポイント〉	48
〈矢田・庄内川にすむ生き物〉	50
〈開発途中の守山志段味付近〉	52
〈会則〉	54
〈テーマソング1〉	54
〈テーマソング2〉	55
〈会の歴史〉	56
〈入会案内〉	63
〈会への30周年記念メッセージ〉	64



# 看板立て

## 看板立て



汚れた川があたり前だった当時、住民は川から目をそむけていました。その目を川にむけてもらう為に何が出来るか話し合い、手はじめに看板を立てることから始めました。

「川の汚れは心の汚れ」の手づくり看板も100本を数え、記念すべき100本目の大型看板は当時の本山市長と一緒に立てました。



▲手づくりの看板立て〈水分橋下〉



▲子どもがお金を送ってくれた新聞記事





▲100本目は、本山市長と共に



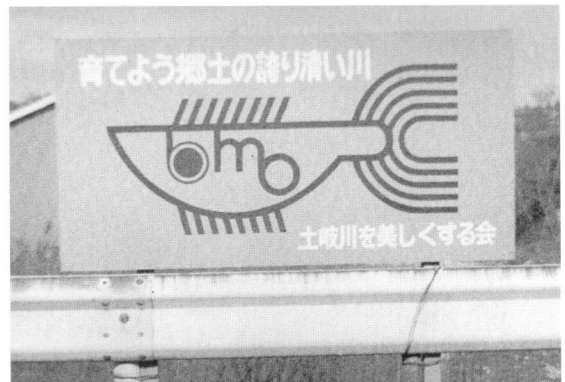
▲看板を立てながらごみを拾う



▲愛知県が標語を利用



▲こんなふうに並んでいました



▲土岐川ではこんな看板が

# つり大会

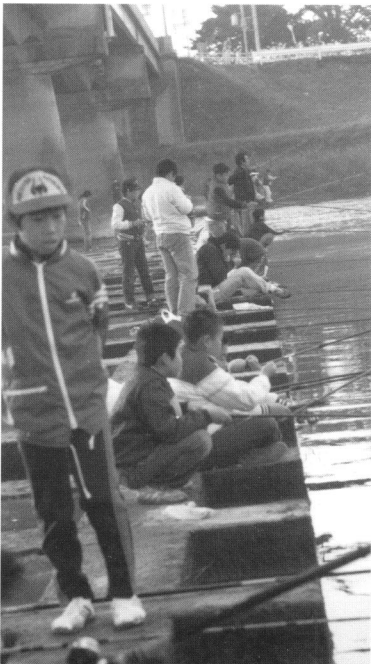
矢田・庄内川をきれいにする会は、環境問題は住民と行政と企業が三位一体で努力しないと解決しないという考えのもと、「まずは川の汚れを広く知ってもらうために“つり大会”を計画しました。当時の庄内川は濁って、臭くてとても魚釣りをしようという気になれない状態でしたが、そこにあえて、“食べられない魚つり大会”と銘うって大々的に開きました。

センセーショナルなタイトルが目を引いたのか大盛況でした。その後“食べられるかもしれない魚つり大会”、“いつかは食べられる魚つり大会”、“鮎帰れ庄内川魚つり大会”、“鮎の棲む庄内川魚つり大会”と変遷していきました。

## ■食べられない魚つり大会



▲白い石鮎の泡の中に魚は生きている



▶夜も明けないうちから  
受付を待つ

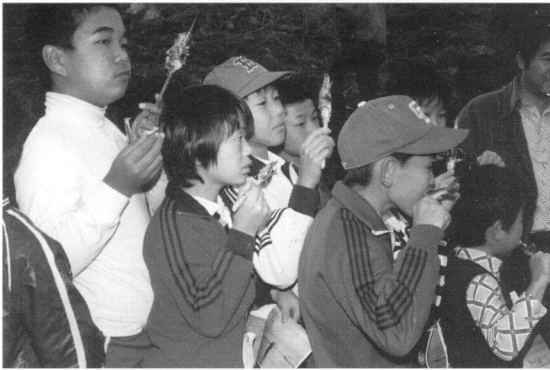




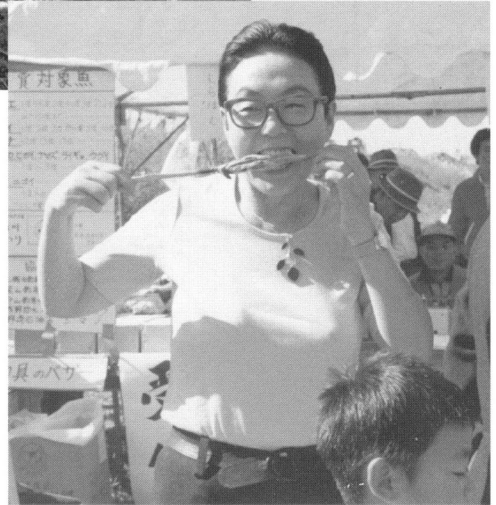
■ “食べられるかもしれない” 魚つり大会



◀ ほんとに食べられないかみんな体験。



▲「やっぱりにがいや」



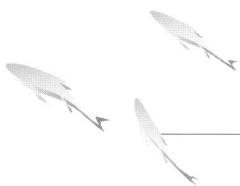
▲当時衆議院議員だった田中さんもいっしょに



▲「お味はいかがですか？ おいしいですか？」



▲「本当に食べられるかな？」  
釣った魚の試食員



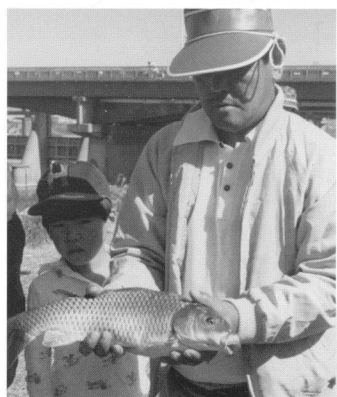
## ■釣 果



▲「こんなに大きなナマズが2匹も」



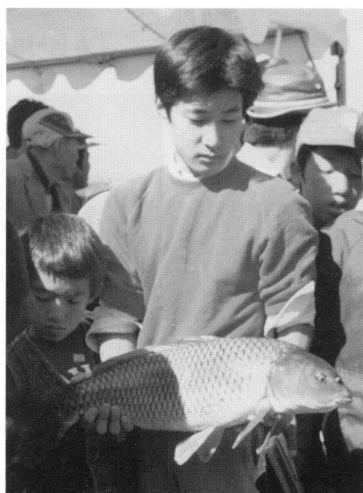
▲「僕だって釣れたよ」



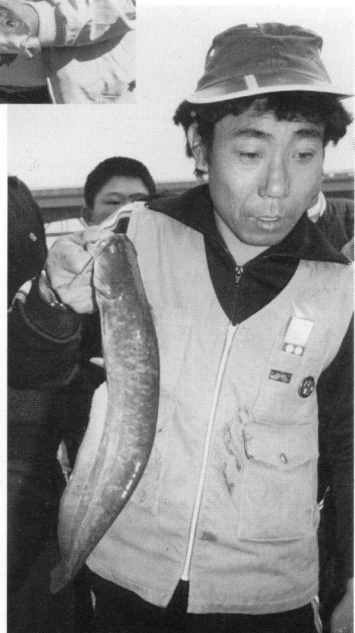
◀「これはどうでしょうか」



▲「僕のが一番でかい」



▲「いや僕のほうが大きい」



▲「川の主のようなナマズ」



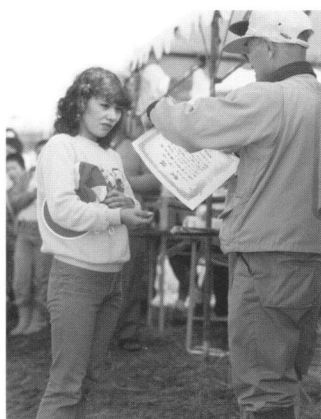
表彰



▲シラハエの部には名古屋市長賞が出されました



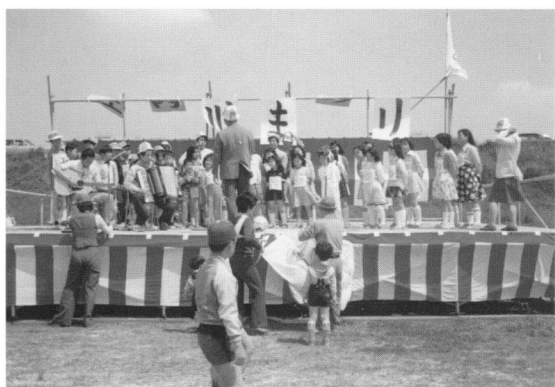
▲賞品は知人や釣り会員さんから寄付していただく



◀ 国際婦人年の釣り大会  
女性が一位



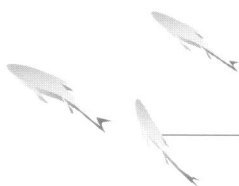
▲名古屋市長賞、少年の部一位、  
山彦会の寺西会長より手渡される



▲会のテーマソング「川のうた」も発表



▲国際婦人年に行ったつり大会、女性を対象に  
しました



## ■マスつり大会



▲川の中に網でつり掘りをつくり、ニジマスを放流、最後はつかみどり。(1995年10月)

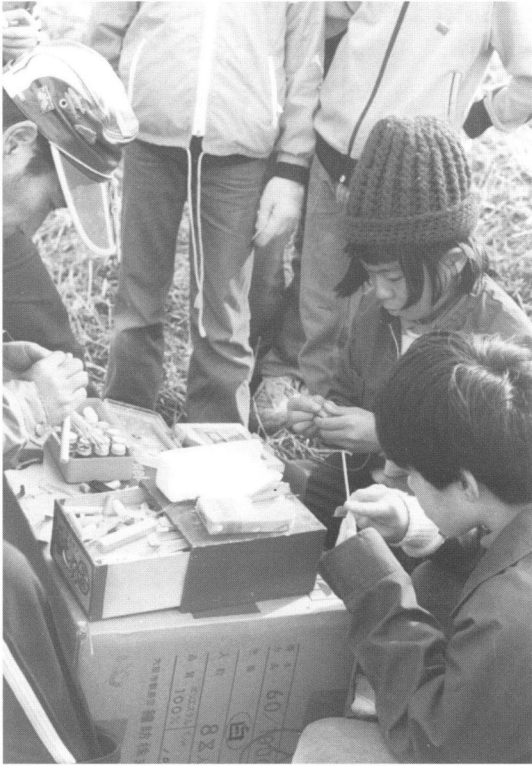


▲特設プールでニジマスつり  
やっぱり最後はつかみ採り。  
(2003年11月)



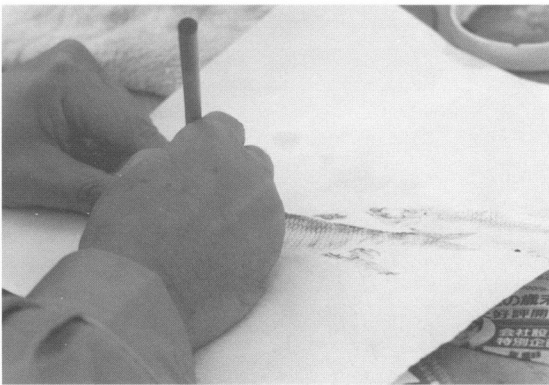
▲特設プールでニジマスつり  
つり教室 (2003年11月)

■うき作り



▲名人のノウハウを伝授

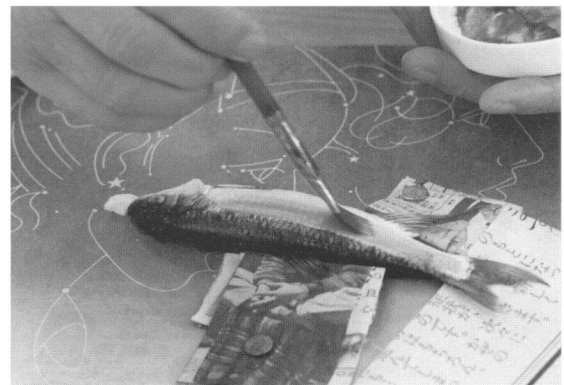
■魚拓



▲こんな作品に仕上がります



◀つり大会の中で  
魚拓の作り方の講習会



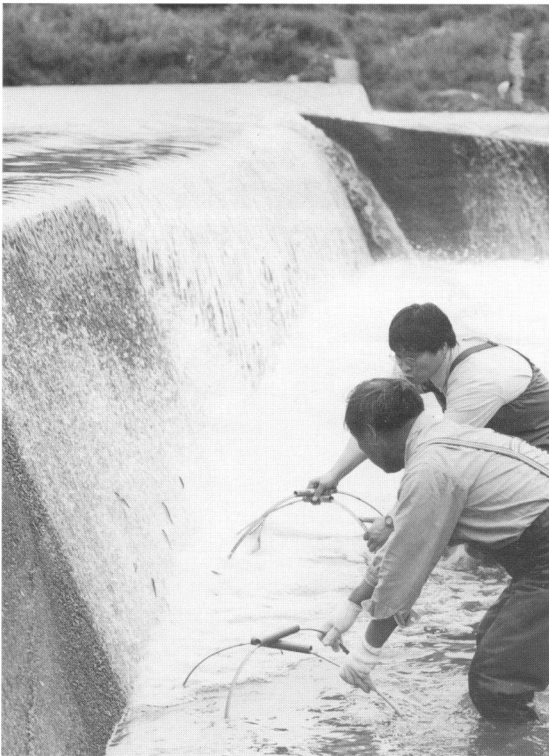
▲ただ墨で写すだけでなく絵の具を使って  
芸術的に仕上げます



# 鮎の救出作戦

庄内橋下流まで稚鮎が遡上しているにもかかわらず、それより上流に上がっていけないことがわかり、庄内橋で採取した稚鮎を土岐川へ運ぶという作戦でした。移動の解禁されていない5月中に行い、県の摘発で注目を浴びるという目論見もありましたが、残念ながら摘発はありませんでした。

## ■ 行動にでる



▲ 稚鮎の捕獲 (1979年5月)



▲ 得意の投網



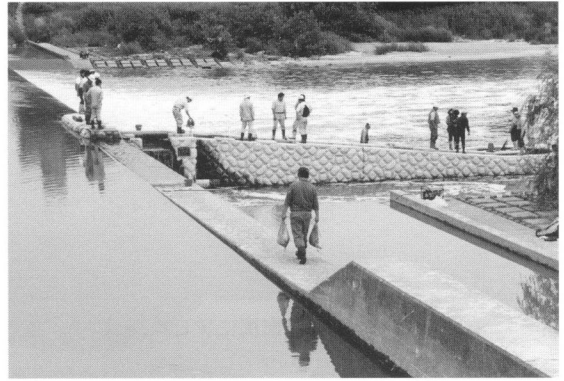
▲ 稚鮎確認と記録 (1979年5月) ▼



庄内川で生まれ伊勢湾で育った鮎が庄内橋の堰堤を登ることができず立往生、その現状を庄内川を管理している国土交通省に把握してもらい、魚道整備を申し入れました。

その結果、庄内川の各堰堤の調査をし、魚道の整備がすすめられました。

## 魚道を作る



▲土岐川漁協の人達と共に鮎の生息状況を調査



「この堰堤は高くで登れないよー」▶  
鮎のひとりごと

# 放流

庄内川の源流の肥田川（土岐川の支流・山岡町）にいつまでもきれいな川であることを願い清流の女王、あまごを放流しました。一方、矢田川ではメッキ工場の排水が原因で大量の魚が浮きました。矢田・庄内川をきれいにする会ではすぐ申し入れをして、工場による鯉の放流が行われました。

## 鯉の放流



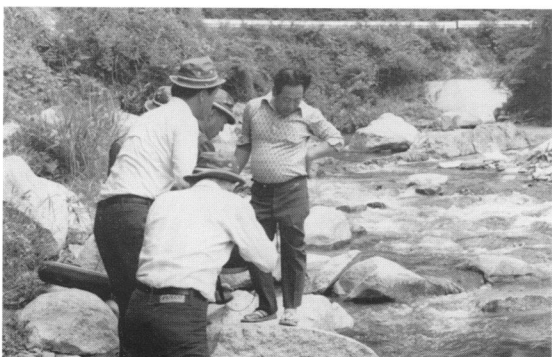
▲ハンドマイクで市民にアピール



▼土岐川（肥田川）にきれいにする会がアマゴを放流



## アマゴの放流





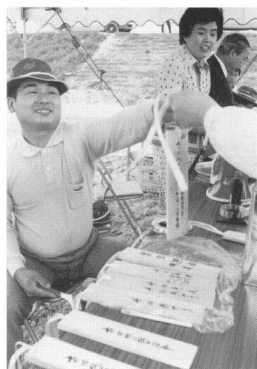
# 桜の銀行

下水処理場の建設に伴って整備された公園に桜を植えようと、広く募金を集め苗木を購入して、名古屋市に寄付をした運動です。贈呈式には地域の幼稚園児らも参加、本山市長にいろいろな要望も合わせて渡しました。

数年後、立派に育った桜と運動の成果を確認するため、観桜会が催されました。



▲手づくりの募金箱をいろいろな所に置かせてもらいました



▲それぞれの思いをこめた名札を掛けました



▲植樹記念碑

## 植樹祭



▲桜の苗木115本の目録を市長に贈呈  
(本山市長と小川博氏)

▲子ども達からいろいろな願いごとが市長に渡された。



▲市長から感謝状を受け取る小池英司氏



広く市民から募金をつのり、桜の苗木を下水処理場で水分橋緑地に植樹、次代に美しい地球環境を残す

観桜会



▲カラオケ大会も



▲会長の丹羽さんと宮田事務局長



▲人形劇



◀赤堀さんのグループによる日本舞踊



▲詩吟の会



▲東邦高校生によるブラスバンド



▲地域の民謡の会



# けいしょうの森

リゾート法の成立とバブルの波で、全国的に自然が破壊される時期でした。とりわけゴルフ場の開発は自然破壊の典型でした。こういった流れを止めるために立木トラストをはじめ、さまざまな取り組みが行われました。矢田・庄内川をきれいにする会では、現地の住民と協働で「けいしょうの森」をつくりました。これは自然破壊を食い止めるための象徴的な意味合いがありました。むやみな自然破壊に警鐘を鳴らし、豊かな景勝を次代に継承するという思いがこめられています。

## ■立木トラスト

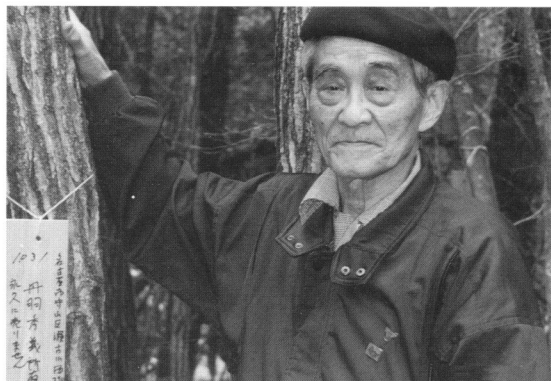
### 「けいしょうの森」宣言

平成2年4月15日

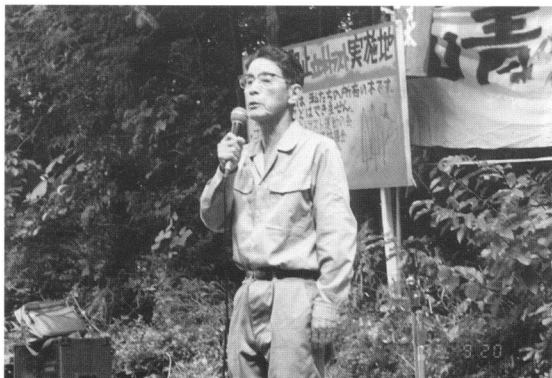
私たちは、現在地球規模の環境破壊に歯止めをかけるためその象徴の場所として、ここを「けいしょうの森」とすることを宣言します。

「けいしょうの森」それは我々に安らぎを与えてくれる景勝であり、又これ以上自然破壊を続けると後世に禍根を残すという警鐘であり、そして「矢田・庄内川をきれいにする会」の一貫したテーマである「次代の青少年にきれいな水とあたたかい社会」を残すという継承であります。自然破壊をするのは我々人間です。又それをくいとめられるのもやはり我々人間しかありません。緑豊かな社会づくりの第一歩にしたいと思います。

矢田・庄内川をきれいにする会 宮田 照由



▲故 丹羽元名誉会長



▲現地のゴルフ場反対運動の人達と連携



▲ゴルフ場予定地の視察



▲庄内川の源流、山岡町にはゴルフ場が乱立



▲シンボルを設置



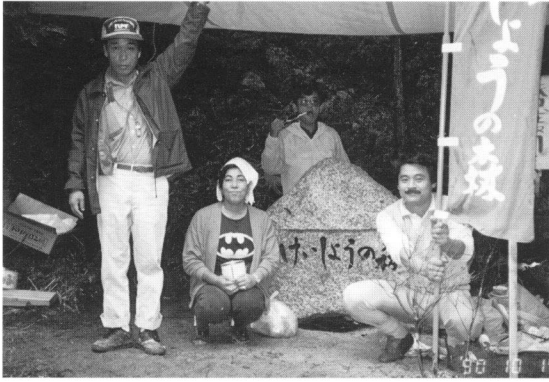
▲会議風景



▲立木トラストの名札付け



▲シンボルタワーも建てました



▲ “けいしょうの森宣言”



▲「森を守る為間伐材の材の利用を」と  
けいしょうの森箸も製作

## 絵画展

けいしょうの森運動の一環として長良茂生氏の個展が地域の医療生協の組合員ルームで開かれ、たくさんの人に協力をしてもらい、記念碑の資金づくりにも役立てました。



▲こんなふうに分で飾りました



▲こんなタッチで上流から下流まで題材にしました



# 石碑

石碑

建設省（現国土交通省）の中部未来大賞を受賞、それを記念して矢田・庄内川をきれいにする会の発祥の地に「川の汚れは心の汚れ」の石碑を建てました。庄内川左岸と矢田川の右岸の交わったポイントに建てています。



▲除幕式



▲文字は宮田会長の直筆



▲たくさんの方が集まりました。



▲バザーも同時に開かれました



▲水野静江さんによる琴の演奏

# いかだ下り

いかだ下り

## ■ボートウォッチング

いつも岸から眺めている川を川の中から見てみよう、いかだ下りを計画、名古屋の水道労組と一緒にいろいろなグループが手づくりのいかだを作りそれぞれのアピールをしながら、堰堤のない枇杷島橋から松陰橋まで下りました。



途中で落っこちたり、いかだが壊れたりハプニングもありましたが、全員無事に楽しく下ることができました。会員はみんな走りまわっていて写真が撮れませんでした。

▲趣向をこらした手づくりいかだが45艘



# 〈釣り大会年表〉

矢田・庄内川をきれいにする会

	年月日	大会名	会場
昭 和	50年6月29日	第1回 食べられない魚釣り大会	水分橋
	9月28日	第2回 食べられない魚 親子釣り大会	矢田川・香流川合流点
	10月26日	第3回 食べられない魚 母子釣り大会	松川橋
	51年5月9日	第1回 庄内川まつり 食べられない魚釣り大会	新川中橋
	6月14日	9年ぶりに県によって鮎放流	吉根橋
	9月28日	釣りクラブ「山彦会」発足	
	10月6日	広教授による庄内川の鮎「天然」と発表	
	10月24日	第2回 庄内川まつり 食べられるかもしれない魚釣り大会 (魚の試食会)	水分橋
	52年1月30日	土岐川支流・肥田川にあまご放流	
	5月15日	鮎救出作戦	庄内橋
	10月9日	第3回 庄内川まつり 食べられるかもしれない魚釣り大会	水分橋
	53年4月11日	鮎救出作戦中止	
	11月18日	第4回 庄内川まつり 食べられるかもしれない魚釣り大会 (名古屋市長杯/本山市長)	水分橋
	54年4月22日	鮎救出作戦	庄内橋
11月18日	第5回 庄内川まつり 食べられるかもしれない魚釣り大会	水分橋	
55年7月31日	フルーツパーク釣り池解放		
11月16日	第6回 庄内川まつり いつかは食べられる魚釣り大会	水分橋	
56年11月15日	第7回 庄内川まつり 鮎かえれ庄内川魚釣り大会	水分橋	
57年4月25日	住民に親しまれる名古屋港を考える会 (名港を考える会) 釣りたい会	枇杷島橋	
11月21日	第8回 庄内川まつり 鮎かえれ庄内川魚釣り大会 (魚拓指導・名古屋市長杯/西尾市長)	水分橋	
58年11月6日	第9回 庄内川まつり 鮎かえれ庄内川魚釣り大会	水分橋	
59年10月28日	第10回 庄内川まつり 鮎かえれ庄内川魚釣り大会	水分橋	
60年10月27日	第11回 庄内川まつり 鮎かえれ庄内川魚釣り大会	水分橋	
61年10月26日	第12回 庄内川まつり 鮎のすむ庄内川魚釣り大会	水分橋	
62年11月8日	第13回 庄内川まつり 鮎のすむ庄内川魚釣り大会	水分橋	
63年10月30日	第14回 庄内川まつり 新しい川づくりを目指す庄内川魚釣り大会	水分橋	
平 成	元年11月5日	第15回 庄内川まつり 新しい川づくりを目指す庄内川魚釣り大会	水分橋
	2年10月28日	第16回 庄内川まつり 鮎が泣いている庄内川魚釣り大会	水分橋
	3年11月3日	第17回 庄内川まつり 鮎が泣いている庄内川魚釣り大会	水分橋
	4年11月1日	第18回 庄内川まつり よみがえれ庄内川魚釣り大会	水分橋
	5年11月7日	第19回 庄内川まつり よみがえれ庄内川魚釣り大会	水分橋
	6年11月13日	第20回 庄内川まつり 20周年庄内川魚釣り大会	水分橋
	7年10月29日	第21回 庄内川まつり 20周年庄内川魚釣り大会 (ニジマス)	水分橋
	8年11月10日	第22回 庄内川まつり 水質基準ランクアップ記念魚釣り大会	水分橋
	9年11月2日	第23回 庄内川まつり もっときれいになれ庄内川魚釣り大会	水分橋
	10年11月8日	第24回 庄内川まつり もっときれいになれ庄内川魚釣り大会	水分橋
	11年11月7日	第25回 庄内川まつり 25周年記念庄内川魚釣り大会	水分橋
	12年11月5日	第26回 庄内川まつり 天然鮎が遡上できる庄内川魚釣り大会	水分橋
	13年11月4日	第27回 庄内川まつり 天然鮎とアユカケがいた庄内川魚釣り大会	水分橋
	14年11月10日	第28回 庄内川まつり 天然鮎とサツキマスが泳ぐ庄内川魚釣り大会	水分橋
	15年11月7日	第29回 庄内川まつり 天然鮎とアユカケがいた庄内川魚釣り大会	水分橋

# 調査活動

三位一体とならなければ庄内川をきれいにすることはできない。

矢田・庄内川をきれいにする会では名古屋市の公害対策局と協働で市内の各河川及び池と名古屋港の魚類調査をしています。

## 魚類調査



▲堀川の魚類調査



▲採取した魚の数と種類等を正確に記録します



▲会長得意の投網の技



▲広く丸く投げるのが名人芸



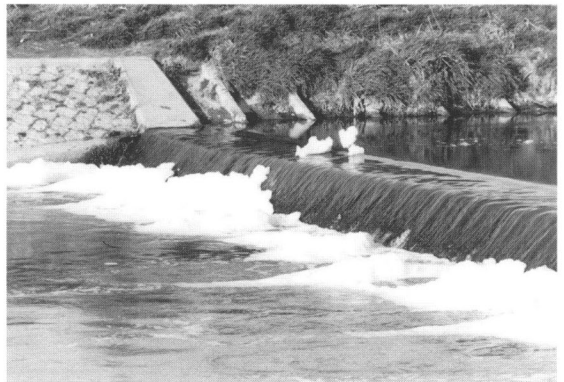
建設省（現国土交通省）の水生生物からみる水質調査



▲生息している生物によって水質が分かります



▲ラムサール条約登録地、藤前干潟も調査



いかだ下りでは川の中から岸のほうを見てみようとい狙いでしたが、もっと広範囲に川全体を見てみようという狙いでヘリコプターで上空から上流から下流、伊勢湾まで眺めてみました。まるで鳥のように。

川の問題はやはり水源地の森から注がれる海まで「全体で取り組まないといけない」という思いを強くしました。

## 航空写真



▲愛岐処分場全景



▲王子製紙春日井工場



▲庄内川が伊勢湾に注ぎこむ

# 参加イベント

国土交通省が毎年開いている「リバーピア庄内川」に矢田・庄内川をきれいにする会も参加しています。庄内川の上流域から下流域まで、それぞれの自治体や団体が参加している大きなイベントです。会では庄内川で生息する生き物の写真や、ビオトープの構想や報告なども展示しています。

## ■リバーピア



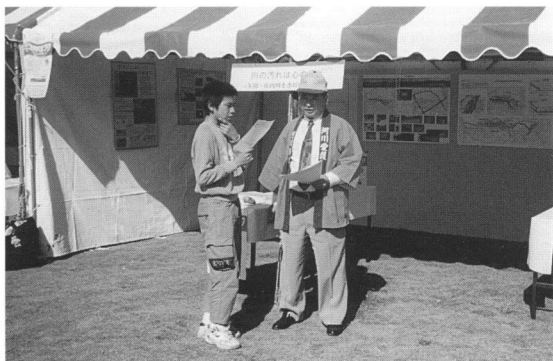
▲広場いっぱいに展示ブースや特産品が並びます



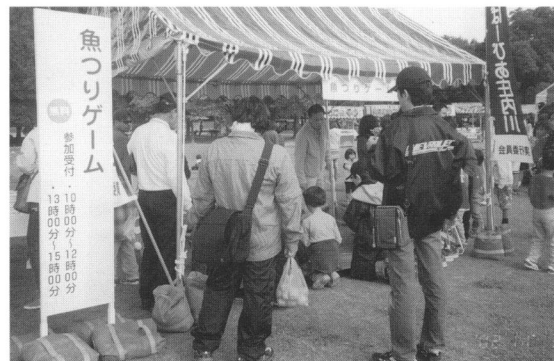
▲訪れる人も興味深げに見て行きます



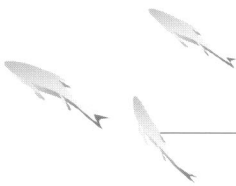
▲庄内川流域ネットワークのメンバーの紹介



▲一週間後に開かれる会の魚釣り大会も宣伝



▲楽しいゲームもありました



## ■エコストック



▲ふれあい橋周辺が一夜にしてミニテーマパークに

万博問題を機に生まれた「だれでもばんぱく協会」の環境を強く意識したイベント。

矢田・庄内川をきれいにする会では実行委員としてその企画などに



▲日頃近寄れない川も身近に

参加しています。

自然の素材だけで作り上げる会場やオブジェ、参加団体の素朴な特産品の販売、それこそだれでも参加できる地域のミニ万博でした。



▲素材はすべて自然のもの



▲地域自慢の特産品

## ■花・水・緑 市民ネットワーク〈1992年10月〉



名古屋市や同市の「花水緑名古屋プラン」を推進する団体などで構成される実行委員会の主催で開催されています。

文字通り花水緑の関連団体が出展しています。

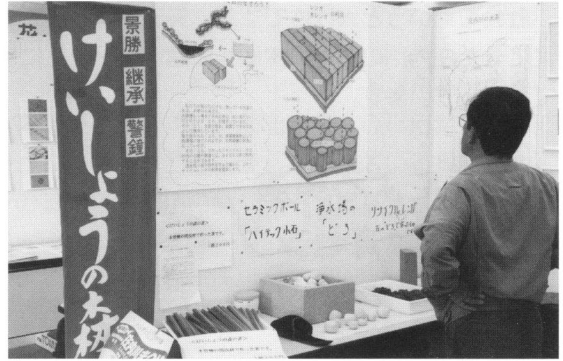
矢田・庄内川をきれいにする会では庄内川に棲む魚の写真や浄化の方法などのパネル展示に加えて、その日の朝庄内川で採った鮎やボラの展示もして参加者の注目を浴びました。

- 花・水・緑の市民フォーラム
- 主 催 花・水・緑の市民フォーラム実行委員会
  - (構成団体) 名古屋市(財)名古屋市民公園緑地協会
  - (財)名古屋都市圏都市農業振興協会
  - (財)東山公園協会、名古屋緑化基金
  - 特別協賛 (財)名鉄グリーン財団
  - 協 賛 名古屋水圏、名古屋下水道局、財東海防同
  - 名古屋観光ホテル、高麗院、サンサーベス(株)
  - ボカカーター、株式会社アンステム、藤つら
  - 株式会社アークサービス
  - 後 援 建設省、愛知県
  - 出展団体 スパリエファルム、一水会、グループ花、グループ
  - 緑、緑木林研究会、ため池の自然研究会
  - 中部公益財団法人、中部マレーシア日本経済協会
  - 中部富貴協会、東海セントポール協会
  - トヨタ研究企業家文庫、名古屋ホテルクラブ
  - 名古屋大学、名古屋大学、名古屋住環境会議
  - 名古屋大学、名古屋大学、名古屋水圏の会
  - 名古屋大学、名古屋大学、名古屋水圏の会
  - 守山研究所、矢田庄内川をきれいにする会





▲当日採った鮎・ボラ



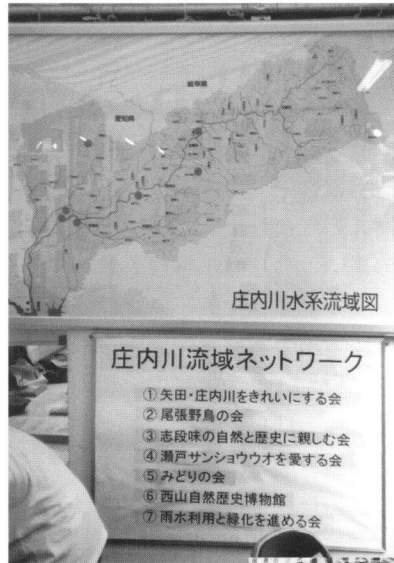
▲浄化のいろいろなアイデアの展示

## 河川愛護月間

国交省が河川環境を良くするため、川に対して広く興味や関心を持ってもらい、川を大事にする気持ちを広めていくために矢田・庄内川をきれいにする会としては河川コーナーというところに出展しています。ピオトープの実践や構想などを展示しています。

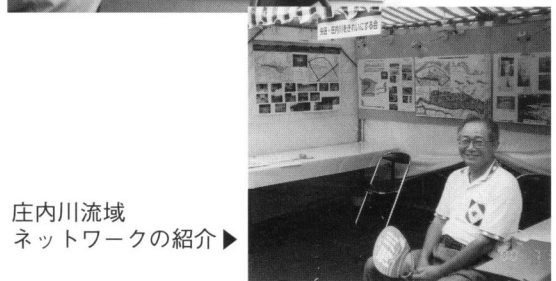


▲セントラルパークに特設展示場



### 庄内川流域ネットワーク

- ① 矢田・庄内川をきれいにする会
- ② 尾張野鳥の会
- ③ 志段味の自然と歴史に親しむ会
- ④ 瀬戸サンショウウオを愛する会
- ⑤ みどりの会
- ⑥ 西山自然歴史博物館
- ⑦ 雨水利用と緑化を進める会



庄内川流域 ネットワークの紹介▶



# テレビ出演

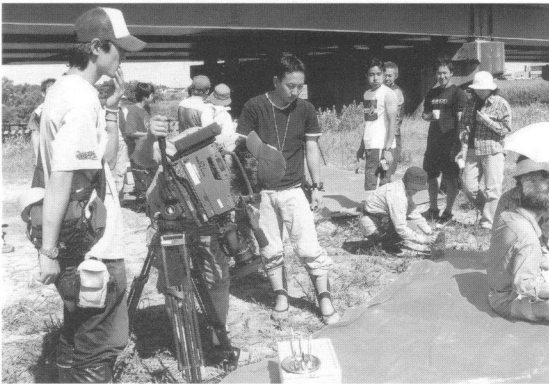
## ■ドンキホーテ（名古屋TV）



名古屋テレビの番組でレッツ・ドンキホーテという番組があります。中部地方を中心に自然が豊かに残されているところを深く探求している番組です。その番組で庄内川の鮎がテーマになり、矢田・庄内川をきれいにする会として全面的に協力をしました。また、宮田会長が庄内川の地元案内役として出演しました。

◀ 番組の仕上げ  
(中本賢さんより活動への寄付を頂く)

## ■Waku・Waku（中京TV）



中京テレビの番組、庄内川の浄化運動をテーマにした特集に庄内川流域ネットワークのメンバーとして紹介され、水質調査をしているシーンが放映されました。

## ■おはよう東海（NHK TV）

あし原による水辺の再生について説明をしました。



## ■市政ニュース（CBC）

三位一体の運動の実践として市長との対話が放送されました。



# ビオトープ

バイオ(生物)とトポス(場所)の合成語で、生物が自然な形で生息できる空間。

河川の護岸工事などで、コンクリートで岸を固めてしまうと当然生物は生息できないし、近寄りにくくなってしまいます。こうしたところに水辺の植物を植えたり、水を引いて小さな池を作ったりして、生物がすみやすい環境と親しみやすい空間を作ります。こうした場所が広がっていけば、植物などの持つ浄化作用で水質も良くなります。矢田・庄内川をきれいにする会ではこうした方法を提案、実践しています。



■庄内川下流



■庄内川上流





愛知亜鉛



珍しく民間企業の敷地内にビオトープを再現。宮田会長が愛知亜鉛鍍金株式会社にビオトープの夢を話し、共感を得て実現しました。とんぼ池を中心に潤いをみせています。いつでもだれでも声を掛けられらるので一度どうぞ。



# 才井戸流

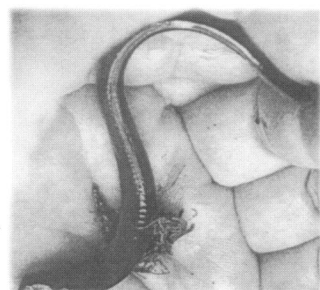
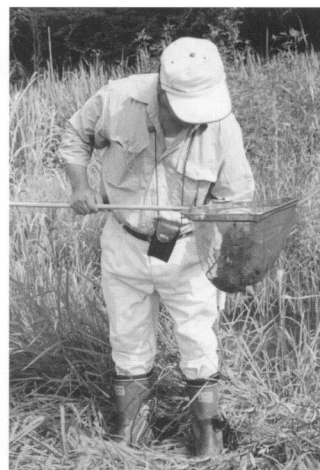
〈さいどながれ〉

守山区志段味にあり、田んぼの脇から湧き出た水が庄内川にそそぐ数百mの小さな川を地元の人はこう呼びます。

小さな流れではありますが非常に水質が良いため、スナヤツメやカワモズクが見つかったり、ウワミズザクラ、カタクリも見られます。都市部で失われつつある貴重な自然が残っているところです。矢田・庄内川をきれいにする会では、この貴重な場所を残す為、行政に対して運動を続けています。



▲調査、調査、調査



スナヤツメ▶



▲定期的に草刈を行っている



▲スナヤツメの生息調査



▲近くの神社の山からの湧水



▲元、田んぼの中からの湧水

◀カタクリ  
▼

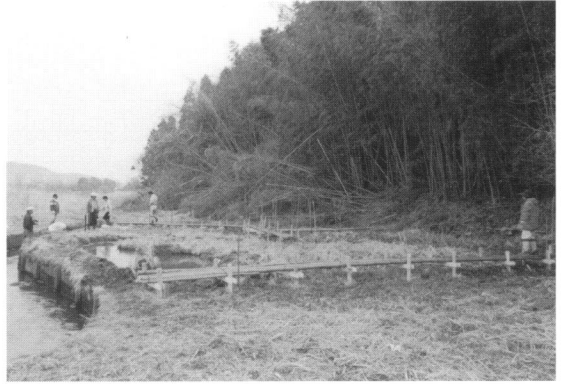


ウワミズザクラ▶





▲地元の地主さんから土地を借りての試験地



▲まず歩道を整備



▲水生生物、植物の調査



▲採取した生物や植物の貴重さの説明



# 表彰

## ■ 中部未来創造大賞

国交省が地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようというものです。その栄誉ある第一回の大賞に選ばれました。

住民と行政と企業が三位一体となつての活動が選ばれた理由でした。



# 名古屋港を考える会

名古屋港に「考える会」が結成されたのは、1979（昭和54年）でした。名古屋港や市役所に働く労働者や矢田・庄内川をきれいにする会や海を漁民の手に取り戻す会などの人々、そして研究者・デザイナーの皆さんの手によって名古屋港がこれからめざすべき夢を実現するために集まったのです。

毎年、当面する名古屋港に関するさまざまなテーマでの集会や、イベントを開催し、そこで出された意見をもとに必要に応じて管理組合や市長に対し要請をしてきました。

その結果、高潮防波堤に魚釣り施設ができ、港のあちらこちらに野球場やテニスコートがつくられ、中川運河河畔のプロムナード化もすすんでいます。名古屋海洋博物館を建設するときには、基本構想や展示企画の提案もしました。「健康と環境をまもれ！愛知のいっせい行動実行委員会」とのつながりができ、「考える会」も「いっせい行動実行委員会」に加入して活動してきました。藤前干潟の保存はその一例です。



▲ 管理組合の船で湾内を視察 ▲



▲ 名古屋港が抱える問題の説明を受ける

# 愛知の住民いっせい行動デー

高度成長政策の中、全国的に公害被害が続出していた1977年、全国の公害被害者などが「総行動」の名の下に国に対する行動が起こされました。愛知では総行動に参加した団体で総行動の地域版として「愛知の住民いっせい行動実行委員会」が作られ、「愛知方式」と呼ばれる県知事や市長との直接交渉や、各局との交渉などを続け、全国の注目を集めています。矢田・庄内川をきれいにする会も中心的に参加をしています。



## 水環境フェスタ'96



◀ 中部地区代表で発表

北野大教授(中央) ▶



各地区代表の人達 ▼



## 支えてくれた人たち

矢田・庄内川をきれいにする会そのものは本当に小さな組織です。こんなにいろいろな活動が続けてこられたのは、ほんとうにたくさんの人達にお世話になったおかげです。ほんとうに感謝しています。この他にも写真に残っていないたくさんの人にもお世話になりました。

### 13周年記念当時



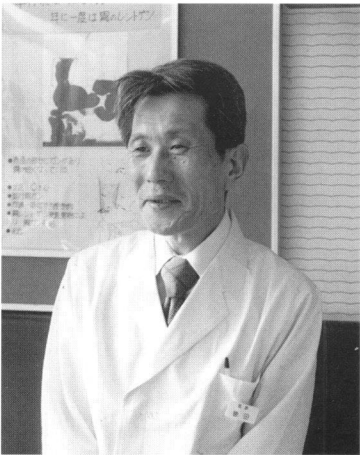
つり大会、桜の銀行等、協力を頂いた本山政雄 元名古屋市長



選挙区だったこともあり、熱心な協力を頂いた田中美智子 元衆議院議員



「13年のあゆみ」出版パーティーで談笑する安藤巖 元代議士



つり大会に看護師の派遣など、協力をして頂いた北医療生協理事長（当時）の徳田秋氏。



建設省 藤本保 庄内川工事事務所 所長（当時）



「13年のあゆみ」に歌を寄せて頂いた名古屋経済大学教授（当時）の田中収氏



支えてくれた人たち



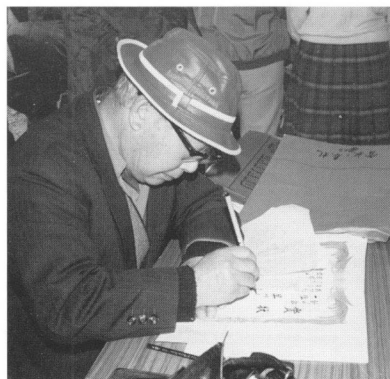
丹羽夫妻  
会の発足当時からご夫婦  
で活動していた



三宅隆夫さん、小原政春さん、山崎勝一  
さん、(左より)山岡町「けいしょうの森」  
準備会にて



「13年のあゆみ出版記念パーティー」で庄内川の歌が披露された  
“フォークグループむぎの芽”



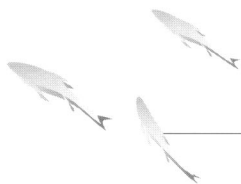
小川博さん  
釣り大会の時はいつも賞状を書い  
てくれました



山岸光夫さん  
元名古屋市職労委員長

山岡町の人々「けいしょうの森」準備会にて

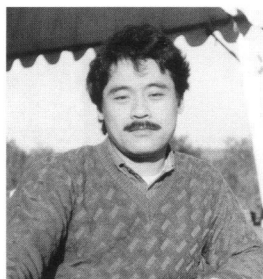




村山孝夫さん



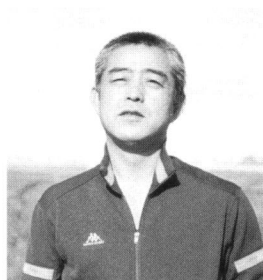
竹内久雄さん



水野達彦さん



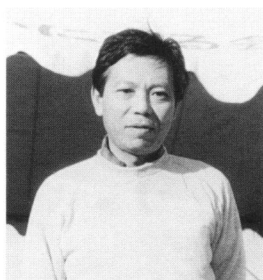
高橋正昭さん



野崎秀也さん



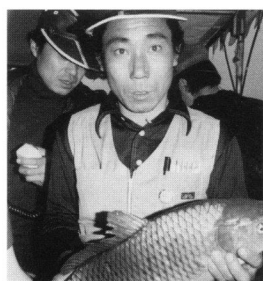
川上郁郎さん



丹羽年彌さん



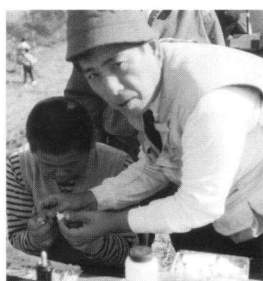
三宅隆夫さん



松田勇さん (前)  
阿部信一さん(後)



渡辺治幸さん



臼井龍也さん



能勢美良さん



宮田明美さん (右)  
川上はつ子さん(左)



鈴木敏さん



近藤爽風さん



瀬尾さち子さん

支えてくれた人たち



◀ 田中美智子さん(左)  
町内会長さん、そのほか



後藤晴郎さん  
田中美智子さん  
松垣房義さん  
小川春水さん  
小島さん



三井さん

今井さん



山崎はつみさん  
加藤節子さん  
加藤秋美さん  
宮田尚彦さん  
宮田巖さん  
臼井龍也さん

▼ 三宅みき子さん(左)



◀ 神岡浪子さん(中央)

▶ 宇留賀さん(左から二人目)



支えてくれた人たち



浅見さん  
井沢さん  
澤田さん



川上はつ子さん  
高橋正昭さん



古川さん  
水野さん  
林さん



柿内さん  
新井正枝さん



伊藤栄さん  
柘植俊介さん  
近藤さん



早川さん  
若子さん  
光坂さん



# 出版 〈13年のあゆみ〉



村山孝夫

高橋正昭

丹羽あや子

山崎勝一

丹羽秀義

水野達彦

宮田照由

丹羽年弥

宮田明美

川上郁郎

三宅隆夫



◀ 前丹羽会長(右)  
現宮田会長(左)



## ■王子製紙による廃水



▲地蔵川にたれ流しの王子製紙の廃水口（昭和40年頃）

王子製紙の廃水は現在は地蔵川に流されることはなく暗渠で八田川の水分橋上流に放出されています。水質は依然として良くないでないので王子製紙との話し合いは今も

続けられています。

八田川と庄内川の合流点には植生浄化実験場があるが庄内川の水質の



浄化には王子製紙に前向きに協力していただくのが一番。



3 毎日新聞 2000年(平成12年)5月8日(日曜日)

**加藤三郎** 環境文芸評論家 関

**循環社会を築くために**

環境問題が、今や「地球温暖化」や「オゾン層破壊」など、具体的な脅威として我々の生活に迫っている。その中で、最も身近な問題として挙げられるのが「資源の枯渇」である。資源は有限であり、一度消費されたら二度と戻らない。だからこそ、資源を大切に使い、循環させることが、持続可能な社会を築くための鍵となる。

資源の循環とは、単にゴミを捨てるだけでなく、資源を回収し、再生して再び製品として利用するプロセスを指す。これは、環境保護と経済成長を両立させるための重要な取り組みである。

王子製紙は、この循環社会の構築に積極的に取り組んでいる。再生紙の生産や、廃水の浄化と再利用など、様々な取り組みを通じて、資源の循環を実現している。

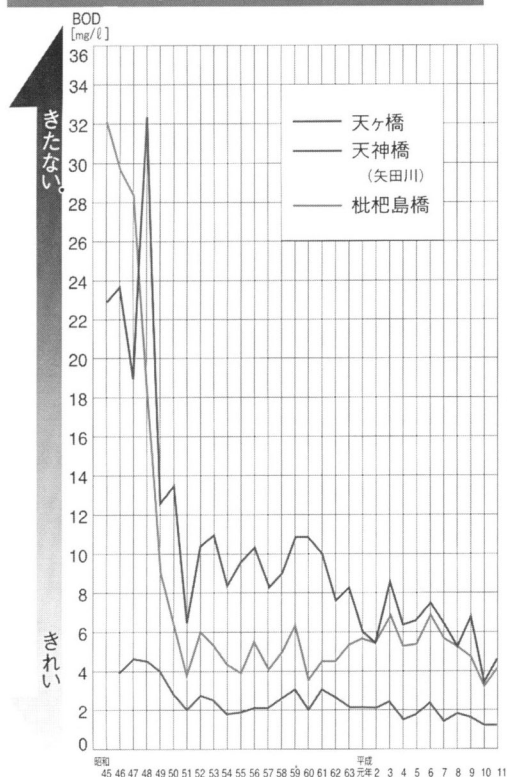
王子製紙副社長 **塩入 明氏**

再生可能な産業を目指す

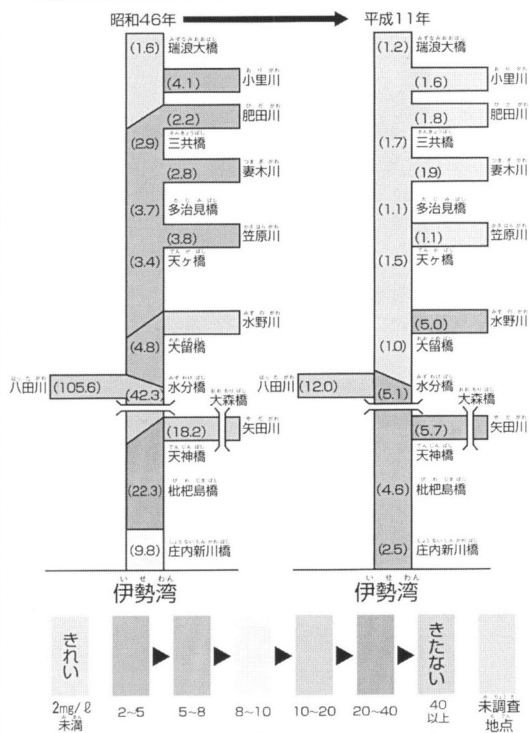
王子製紙は、環境問題への取り組みを強化し、持続可能な産業を目指している。再生紙の生産や、廃水の浄化と再利用など、様々な取り組みを通じて、資源の循環を実現している。

### 庄内川・土岐川のBODの変化

#### BOD経年変化図(75%値)



#### 庄内川BOD汚濁モード図(年平均)

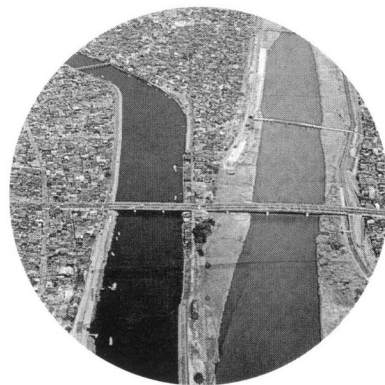


上の図の色分けをもとに、上の2つの川の汚れを見てください。  
※( )の中の数字はBODのmg/lを表しています。

昭和46年と平成10年の水質の変化を庄内川河川事務所がまとめたものです。八田川の水質は矢田・庄内川をきれいにする会の発足当時から見ると改善されていますが、まだまだです。



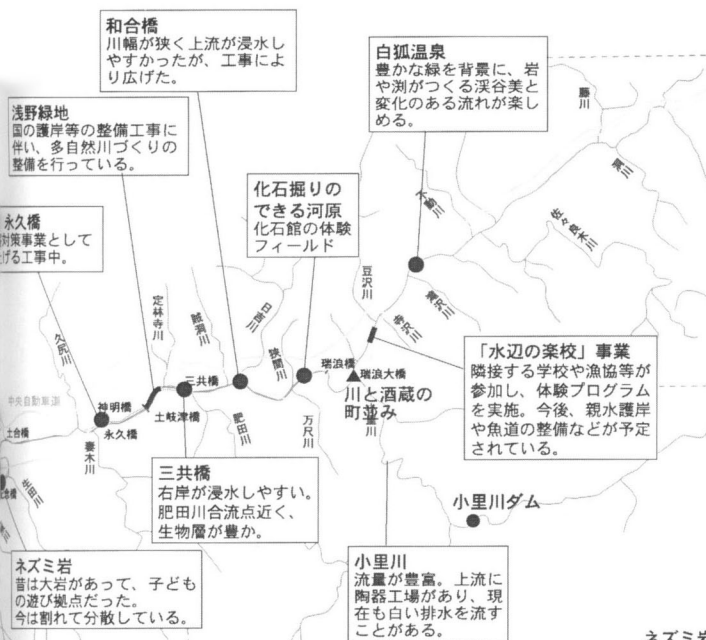
▲昭和48年頃の庄内川



▲平成8年頃の庄内川







白狐温泉

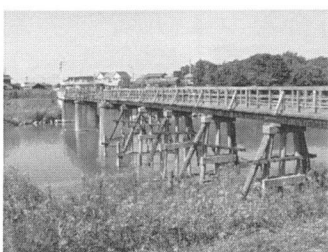
夕立山（源流）



水辺の楽校（さば土の岸辺）



ネズミ岩



大留橋



国長橋〜陶都橋の護岸



定光寺・城嶺橋



ビオトープ



才井戸流



黒川樋門

長橋〜陶都橋の護岸整備がされ遊歩道ができた。左岸の板並木はあった。

光寺・城嶺橋  
谷美により名所となった場所。橋のある高欄に特徴。

和合橋  
川幅が狭く上流が浸水しやすかったが、工事により広げた。

浅野緑地  
国の護岸等の整備工事に伴い、多自然川づくりの整備を行っている。

永久橋  
対策事業として工事中。

化石掘りのできる河原  
化石館の体験フィールド

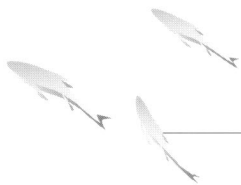
「水辺の楽校」事業  
隣接する学校や漁協等が参加し、体験プログラムを実施。今後、親水護岸や魚道の整備などが予定されている。

三共橋  
右岸が浸水しやすい。肥田川合流点近く、生物層が豊か。

ネズミ岩  
昔は大岩があって、子どもの遊び場だった。今は割れて分散している。

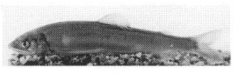





小里川  
流量が豊富。上流に陶器工場があり、現在も白い排水を流すことがある。

★ 多治見市 土岐川観察館  
多治見市が、土岐川のビジターセンターとして設置。市民団体が運営に関わり、活動拠点にもなっている。年間を通じ、多彩な体験プログラムを実施。



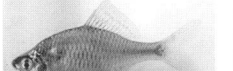















写真提供：渡部剛次郎先生

矢田・庄内川にすむ生き物 1/4 2004年6月 名古屋市立瀬古小学校

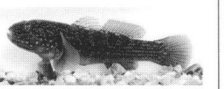
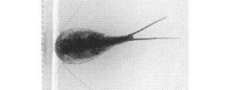

 1 ウナギ	 2 アユ	 3 カワムツ	 4 オイカワ・オス
 4 オイカワ・メス	 5 ウグイ	 6 タモロコ	 7 モツゴ
 8 カワヒガイ	 9 カマツカ	 10 ゼゼラ	 11 スゴロコ
 12 コウライモロコ	 13 コイ	 14 ギンブナ	 15 ゲンゴロブナ

矢田・庄内川にすむ生き物 2/4 2004年6月 名古屋市立瀬古小学校

 16 ヤリタナゴ・メス	 17 タイリクバラタナゴ・オス	 17 タイリクバラタナゴ・メス	 18 ドジョウ
 19 シマドジョウ	 20 アカザ	 21 ナマズ	 22 メダカ・オス
 22 メダカ・メス	 23 カダヤシ・オス	 23 カダヤシ・メス	 24 ボラ
 25 カムルチー	 26 ブルーギル	 27 オオクチバス	 28 カワアナゴ

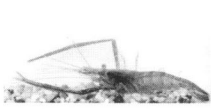






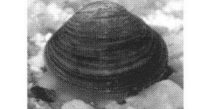




矢田・庄内川にすむ生き物 3/4

2004年6月 名古屋市立瀬古小学校

			
29 スジハゼ	30 シマヨシノボリ・オス	30 シマヨシノボリ・メス	31 トウヨシノボリ・オス
			
31 トウヨシノボリ・メス	32 カワヨシノボリ・オス	32 カワヨシノボリ・メス	33 ヌマチチブ
			
34 ウキゴリ	35 マハゼ	36 ウツセミカジカ	37 ホウネンエビ
			
38 カブトエビ	39 カイエビ	40 ヌマエビ	41 スジエビ

矢田・庄内川にすむ生き物 4/4

2004年6月 名古屋市立瀬古小学校

			
42 テナガエビ	43 アメリカザリガニ	44 モクズガニ	45 マルタニシ
			
46 サカマキガイ	47 カワニナ	48 カラスガイ	49 マシジミ
			
50 ニホンイシガメ	51 クサガメ	52 ミシシッピーアカミミガメ	53 スッポン

★これらの生き物は、2003年～2004年に、名古屋市守山区から西区にかけての矢田・庄内川、その支流、周辺の池、田、用水路で採集しつづけました。

## ■開発途中の守山区志段味付近



▲才井戸流には貴重な自然が残されている ▲区画整理で不要な道路がある

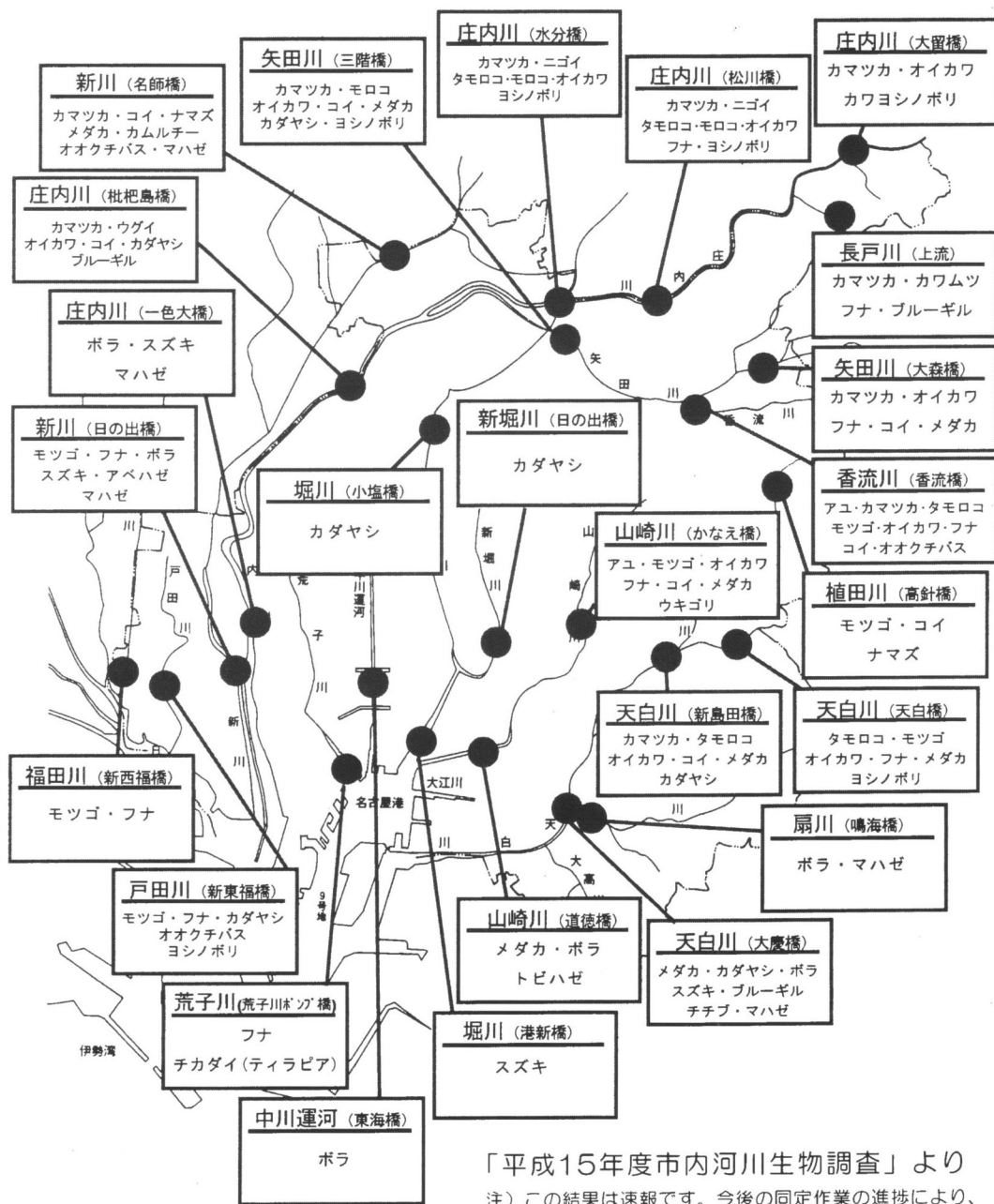


貴重な自然の残る才井戸流れ等の地域が区画整理によって失われていくおそれがあります。環境に配慮した計画を要請しています。

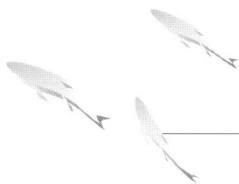
◀左が庄内川、右が矢田川  
ザ・シーン城北の屋上から石川雅宥さん写す  
住民の皆様ご協力ありがとうございました。



## 私たちの身近なところにいる魚。



「平成15年度市内河川生物調査」より  
注) この結果は速報です。今後の同定作業の進捗により、  
内容が変更される可能性があります。



## ■矢田庄内川をきれいにする会 会則

### 第一章 総則及び目的

第1条 (名称) この会は矢田・庄内川をきれいにする会(略称きれいにする会)と呼ぶ。

第2条 (目的) この会は、庄内川水系を汚すすべての汚染源に対し、きれいで快適な生活環境をとり戻し、次代へ引きつぐことを目的とする。

第3条 (会員) 会の目的、会則、運動方針に賛成するものはだれでも会員になれる。(ただし10歳から17歳までは準会員とする。)

### 第二章 機関及びその役割

第4条 (総会) 総会は必要に応じて開催し、会の基本方針、規約改正などを決定する。

第5条 (世話人会) 会は、各支部の世話人に従って世話人会をつくり、会全体の運営を行う。

第6条 (支部世話人会) 会は地区ごとに支部をつくり、支部世話人会によりそれを運営する。

第7条 (役員) 世話人会の互選により、会の代表、会計、事務局を決め、日常の運営に必要な諸事項を処理する。

### 第三章 財政

第8条 この会の経費は会費および寄付金、その他の収入によってまかない、年会費は1口2,000円とする。(ただし準会員は会費を必要としない。)

### 第四章 附則

第9条 この会則を運営するのに必要な規定(内規)は各世話人会の協議を経て別に制定改廃する。

第10条 この会則は1975年5月24日から実施する。

以上

### ●テーマソング1

### 川の歌〈魚にきいてみようよ〉

詩/門倉 訣 曲/林 彰雄

川の歌  
 魚にきいてみようよ  
 魚は泣いている  
 きれいな水とあたたかい街を  
 魚は話してる  
 きれいな水とあたたかい風を  
 魚はうたってる  
 きれいな水とあたたかい夢を

- 川はどこからくるんだろう  
川はどこへいくんだろう  
魚にきいてみよう 魚は泣いている  
きれいな水とあたたかい街を
- 風はどこからくるんだろう  
風はどこへいくんだろう  
魚にきいてみよう 魚は話してる  
きれいな水とあたたかい風を
- 風はどこからくるんだろう  
風はどこへいくんだろう  
魚にきいてみよう 魚はうたってる  
きれいな水とあたたかい夢を

## ●テーマソング2

## 〈ほくらの〉庄内川よ

詩/宮田 照由 作詩補/小原 政春 曲/小寺 富士雄

Handwritten musical score for the song "ほくらの 庄内川よ". The score is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It features a vocal line with lyrics and a guitar accompaniment with chord diagrams. The lyrics are presented in three variations (1, 2, and 3) at the bottom of the page.

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>1. どんなに汚れた 川だとして<br/>心よせれば よみがえる<br/>夢をはぐむ 川なのに<br/>青さをなくした ほくらの川よ<br/>アユのかえる日 まだ遠い</p> | <p>2. どんなにすさんだ 川だとして<br/>心くだけば よみがえる<br/>愛をはぐむ 川なのに<br/>青さをなくした ほくらの川よ<br/>澄んだ水辺に鶯がいる<br/>願いよとどけ アユかえれ</p> | <p>3. どんなに濁った 川だとして<br/>心くむすべば よみがえる<br/>生命はぐむ 川なのに<br/>青さをなくした ほくらの川よ<br/>蛍舞う日は いつの日か<br/>アユのほる日 よみがえれ</p> |
|--|--|---|

# 〈 会 の 歴 史 〉

矢田・庄内川をきれいにする会

年月日	できごと
49年 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>王子公害をなくす住民の会に参加</li> </ul>
12月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>王子製紙に工場廃液について口頭で申入(丹羽)</li> </ul>
12月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日新聞で「きれいにする会」の結成が紹介される</li> <li>矢田川で大量の魚が浮く</li> </ul>
50年 1月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>三階橋温泉に王子製紙の工場廃液の写真を展示</li> </ul>
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「川の汚れは心の汚れ」看板完成(15枚)</li> </ul>
6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を庄内川・矢田川堤防に立てる</li> </ul>
6月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内川で「喰えない魚釣り大会」を開く、350名参加(大盛況)</li> </ul>
8月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>この頃より、庄内川・矢田川に釣りブーム起きる</li> </ul>
9月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢田川・香流川合流点付近、合成洗剤の害を訴える</li> </ul>
10月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>土方康夫、日本福祉大学教授による当会のシンボルバッジのデザインが決まる</li> </ul>
10月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回「食べられない魚 母子釣り大会」を開く(松戸河橋付近)国際婦人年にちなんで釣り女子選手権争奪戦、宝探しなど楽しく行う。・合成洗剤の害を訴える</li> </ul>
12月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内橋六価クロム検出量日本一、新聞に発表される</li> <li>水分橋上流、八田川より流出したもよう</li> </ul>
12月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀川に庄内川の水が導入される(360年ぶり)</li> </ul>
昭 51年 1月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀川導入終る</li> <li>「きれいにする会」堀川浄化作戦実施、看板を2枚立てる</li> <li>堀川と庄内川は兄弟であることを沿岸住民に訴える</li> </ul>
1月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「矢田・庄内川をきれいにする会」がNHKのテレビリポートで紹介される</li> </ul>
3月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県の依頼により、庄内川の魚種の採取(枇杷島橋、水分橋、志段味橋)</li> </ul>
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>CBCテレビの「市政ニュース」で丹羽さんが市長と対談、住民運動と行政の一致が早く川をきれいにすると訴える</li> </ul>
5月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回「庄内川まつり」バッジで大行進</li> <li>「きれいにする会」のテーマソング、川の歌発表会、「喰えない魚釣り大会」「川のごみ清掃」などの行事 参加者400名</li> </ul>
和 6月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>9年ぶりに愛知県によって17,000匹の鮎が庄内川へ放流される 場所は吉根橋、体長6~7センチのもの</li> <li>「きれいにする会」の運動の成果大いに上がる 追跡調査行う</li> </ul>
6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内川漁業協同組合、吉根橋で採取。半月で体長11センチ、体重12グラム</li> </ul>
8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国放送協会主催の環境美化キャンペーンに参加</li> <li>三階橋上流の河岸清掃</li> </ul>
8月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>世話人会で「きれいにする会」の中に釣りクラブ(山彦会)をつくること決定</li> </ul>
10月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内川で採取された鮎は天然鮎、名古屋女子大学廣教授発表</li> </ul>
10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食べられるかもしれない魚釣り大会」試食会</li> </ul>
12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「川の汚れは心の汚れ」看板百本記念、本山市長によって立てられる</li> <li>黒川をきれいにする会とともに堀川清掃</li> </ul>
52年 1月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内川上流・土岐川支流・肥田川にあまご放流</li> </ul>
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和メッキ、矢田川にコイ放流(シアン流出のおわび)</li> </ul>
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「さくらの銀行」開設</li> </ul>
5月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>鮎救出作戦決行、鮎土岐川に送る</li> </ul>
6月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 「健康と環境を守れ愛知の住民一斉行動デー」に参加、知事に要望書提出</li> </ul>
53年 3月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「さくらの銀行」植樹祭に本山市長参加</li> </ul>
53年 6月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内川で重金属調査のため魚採取</li> </ul>



年月日	できごと
12月21日	・名港に釣り公園、名古屋港管理組合発表
54年3月18日	・猫ヶ洞釣り場として一般に開放
3月24日	・「きれいにする会」5年のあゆみ「川の汚れは心の汚れ」発刊 1冊1,000円
6月4日	・愛知県知事と交渉
	・庄内川の河川ランク上げ D級→C級
	・魚道の見直しなど
7月10日	・庄内川にシラス（うなぎの稚魚）戻ってくる
10月21日	・名港を考える会結成 会長 中田名大教授、副会長 きれいにする会会長
55年1月30日	・釣り池開放問題で名古屋市農政局と対談、東谷山フルーツパーク内、お神池
3月2日	・合成洗剤追放策、三川連絡会支援
4月4日	・「六価クロムたれ流し」春日井市池上化研工業摘発
4月26日	・愛知県水質審「伊勢湾総量規制」7月スタート
6月8日	・バクテリアのプール装置BODぐんと改善、滋賀県が実験（中日新聞）
7月1日	・伊勢湾浄化総量規制スタート
8月19日	・映写会守山下水処理場内集会場
11月16日	・庄内川まつり「いつかは食べられる魚釣り大会」600名参加
12月19日	・庄内川の水質向上と建設省中部地建発表
12月24日	・名古屋市が公害白書、伊勢湾は富栄養化
56年4月26日	・水分橋上流八田川より廃棄物流される
7月24日	・市内河川河川魚類調査 宮田
10月29日	・建設省申し入れ 吉根堰堤問題、玉野堰堤改修、庄内橋下流地下鉄工事
57年5月10日	・市長対談 下水道問題
7月10日	・中部の環境を考える会
58年4月24日	・「観桜会」
6月4日	・矢田川千代田橋上流アシスト
10月14日	・水分け橋上流にて鮎採取 25センチ
59年1月18日	・庄内川水生昆虫調査
60年1月23日	・市長交渉 親水護岸問題
3月25日	・王子公害、公害対策局と交渉
61年4月27日	・「サバイバル庄内川86」（ボート下り）
5月30日	・水マイリバー堀川オブザーバー参加
7月24日	・魚取り（建設省展示用）
9月21日	・名港フェスティバル魚展示
9月28日	・志段味を考える会 宮田講演
11月6日	・堀川と私たち
62年8月4日	・建設省水生生物調査
8月29日	・SOS伊勢湾会議参加
11月28日	・伊勢湾・なごや港の環境を考える市民の集い 参加・報告
63年4月23日	・13年のあゆみ出版記念パーティー（ぼくらの川「庄内川よ」〈テーマ曲第2弾発表〉）
6月25日	・柳川堀割物語上映会 大森会館
8月11日	・水冒険
8月21日	・水冒険フェスティバル
9月16日	・堀川魚取り 中京テレビ
10月16日	・名港フェスタ '88

昭

和

年月日	できごと
元年3月26日	・瀬古団地内河川にホタル放流(ヘイケ30匹、ゲンジ50匹)
6月12日	・サンサンモーニング ラジオインタビュー
10月8日	・89水冒険フェスティバル ボートウォッチング
10月5日	・「新しい川づくりをめざす庄内川魚釣り大会」
12月9日	・土岐川視察 恵那荘交流会
2年2月11日	・柳川視察
2月25日	・山岡町 立木トラスト
3月29日	・木曾川シンポ
4月15日	・「けいしょうの森」石碑 除幕式
6月24日	・市内トンボ湿地見学会
7月24日	・庄内川魚とり 建設省 CBCまつり
8月24日	・名港フェスティバル シンポジウム
9月16日	・藤前干潟ウォッチング
10月14日	・「けいしょうの森まつり」バスツアー
10月28日	・「鮎が泣いている庄内川魚釣り大会」
11月24日	・ため池研究会
3年6月4日	・大矢川ゲンジボタル確認
6月30日	・庄内川絵画展
7月31日	・親子水辺教室
8月21日	・庄内川水生生物調査 建設省
9月30日	・オ井戸流 スナヤツメ、カワモズク発見
11月3日	・「鮎が泣いている庄内川魚釣り大会」
4年4年29日	・水冒険マス釣り大会
6月10日	・中志段味安田池保存へ 買い取り
8月26日	・名古屋市市民フォーラム
10月17日	・花水緑の市民フォーラム参加
10月18日	・ //
11月1日	・「よみがえれ庄内川魚釣り大会」
11月8日	・リバーピア庄内川魚の写真パネルで参加
5年2月20日	・「けいしょうの森」スケッチ画展
3月24日	・「海上の森」もみの山視察
6月3日	・瀬戸環境を考える会
6月5日	・愛知万博シンポジウム
8月9日	・庄内川視察庄内川工事事務所
8月20日	・水濁協魚類調査
9月13日	・志段味長戸川調査
10月30日	・東海水環境ネットワーク
11月7日	・第19回庄内川まつり「よみがえれ庄内川魚釣り大会」
6年2月15日	・カワヒバリ貝調査
3月23日	・庄内川4輪ゾープシンポジウム(庄内川河川利用フォーラム)
3月24日	・水分橋緑地公園植樹祭(桜つづみモデル事業)
4月21日	・庄内川山菜調査
4月28日	・庄内川残土によるシャチ出来上がり
8月7日	・矢田川水生生物魚類調査 医療生協

平

成

年月日	できごと
6年11月6日	・リバーピア庄内川
11月13日	・第20回庄内川まつり「20周年記念魚釣り大会」
12月19日	・庄内橋ゴルフ場視察
7年9月2日	・愛知県河川課 野外パネルセッション(古岸水辺公園)
10月22日	・リバーピア庄内川、名港を考える会フェスタ
10月25日	・庄内川志段味橋立木調査下見(野鳥の会)
10月29日	・第21回庄内川まつり(20周年庄内川釣り大会・ニジマス釣り大会)
11月21日	・河川問題、多自然型工法
12月13日	・志段味地区保全問題会議(愛知県有林について)
8年3月14日	・庄内川環境特性検討会議・庄内川環境基準ランク引き上げ E→Dへ
3月22日	・ヘリコプターにて庄内川視察と講演
7月24日	・水辺教室 講演と魚とり(建設協会)
8月6日	・水環境フェスタ96(岡山・建設省<庄内川について>宮田発表)
9月28日	・東区保健センター環境問題(香流川)
11月3日	・リバーピア庄内川
11月10日	・第22回庄内川まつり(水質基準ランクアップ魚釣り大会)
11月16日	・愛岐処分場見学
9年1月18日	・丹羽秀義 死去(84歳)
3月26日	・愛知用水トンネル工事視察
4月5日	・東谷山シデコブシ観察会
6月6日	・NHKおはよう東海 ヨシ原再生・ビオトープ問題で宮田出演
6月11日	・矢田川上流、海上の森 看板立て
6月25日	・庄内川ヨシ原再生の視察と発表
7月23日	・庄内橋堰堤右岸、ソウ魚発見(死骸)
8月8日	・水環境フェア 宣言発表
9月4日	・庄内川ビオトープ
11月2日	・第23回庄内川まつり「もっときれいになれ庄内川魚釣り大会」
11月3日	・リバーピア庄内川
12月19日	・多治見保健所申し入れ 定光時及び曾木汚濁問題
10年1月16日	・愛知用水東谷山付近貫通式
2月13日	・愛知用水志段味開水路検討「意見聴取会」
2月22日	・県河川フォーラム
4月19日	・観桜会 記念碑除幕式
6月7日	・ビオトープ ヨシ茎植え
7月21日	・庄内川工事事務所にて表彰される(建設事業関係功労者)
7月25日	・第28回なごやまつり 第18回河川コーナーにきれいにする会出展
7月26日	・ //
8月7日	・建設協会親子水辺教室
10月27日	・イタセンバラ現地調査
11月3日	・リバーピア庄内川
11月8日	・第24回庄内川まつり「もっときれいになれ庄内川魚釣り大会」
11月15日	・庄内川ビオトープ生物調査
12月13日	・ドンキホーテ隊打ち上げ(中本賢さんより寄付金をもらう)
11年2月20日	・グラウンドワークセミナー

平

成

年月日	できごと
11年3月4日	• 建設省浄化事業
3月27日	• 日本環境会議名古屋大会
4月15日	• 才井戸流 C B C 放映
4月18日	• 藤前干潟「生きものまつり」
4月27日	• N B N「こけこっこ」でインタビューを受ける
5月11日	• 建設コンサルタント総会にて講演
5月12・13日	• 庄内川ビオトープ「ズームイン朝」で放映
5月21日	• C B C「そこが知りたい」サツキマス確認
5月31日	• 県知事交渉
6月26日	• 陸水会 水質調査
6月27日	//
7月17日	• 東海水環境ネットフォーラム99
7月24日	• 建設協会 親子水辺教室
7月25日	• //
7月26日	• 名古屋市長交渉
8月9日	• イタセンバラ保護連絡会
9月3日	• 中部国際空港を考える愛知県民ネットワーク
11月3日	• リバーピア庄内川
11月7日	• 庄内川まつり魚釣り大会
11月9日	• 瀬戸市長交渉
12年4月26日	• 東生涯学習センター 宮田講演
4月30日	• 志段味懇談会 宮田講演
6月2日	• 庄内橋魚道調査
6月4日	• 才井戸流ビオトープ観察会
6月9日	• 河川生態環境評価に関する講演会
7月26日	• 庄内川流域ネットワーク「庄内川の魚を見る会」
7月29日	• C B C 夏まつり 河川コーナー
7月30日	• //
9月11日	• 東海豪雨
9月15日	• 愛知サンショウウオを見る会 才井戸流ビオトープ調査
10月21日	• 堀川を考える小学生の集い(八熊小学校)・いっせい行動
10月29日	• 流域自治体ゴミクリーン作戦
11月3日	• リバーピア中止
11月5日	• 庄内川まつり 魚釣り大会
11月16日	• 名港を考える会 宮田講演(住民と企業と行政)
12月2日	• 矢田中学講演 宮田
12月4日	• 中部未来創造大賞受賞
12月13日	• 王子製紙環境管理課と話し合い
12月21日	• 万博座談会
12月25日	• 八田川浄化問題
13年2月15日	• 堀川浄化問題
2月25日	• 才井戸流報告会
2月27日	• 庄内川流域ネットワーク王子製紙見学
4月12日	• 桜植樹 米が瀬緑地



年月日	できごと
13年6月2日	・名東保健所 魚類を採る
6月13日	・庄内川・土岐川流域ネットワーク 海上の森視察
6月17日	・志段味の歴史と自然に親しむ会
6月20日	・県吉根堰堤魚道打合せ
6月27日	・白沢小学校庄内川観察会
7月24日	・香流川 親子水辺教室
7月26日	・山崎川 親子水辺教室
7月27日	・春日井北白小学校 水生生物調査
7月22日	・夏まつり 河川コーナー
7月23日	・ //
8月2日	・守山保健所 水生生物調査 投網
9月5日	・矢田川水生生物調査
9月8日	・河川シンポ(河川文化ディスカバーフォーラム)
11月3日	・リバーピア庄内川
11月4日	・庄内川まつり 魚釣り大会
12月20日	・八田川懇談会
12月24日	・産廃焼却施設を阻止する北区の会
14年5月6日	・いっせい行動出版懇談会
3月2日	・名成産業説明会 松川戸産廃問題
3月7日	・桜の植樹
3月11日	・庄内川ビデオ撮り
3月12日	・愛知垂鉛 ビオトープ メダカ
4月7日	・保険医協会 才井戸流見学
5月11日	・名古屋テレビ ロケ
5月20日	・名古屋テレビ ロケ(小野さんほか)
6月3日	・名古屋テレビ 「アユ元気か？」放映
11月3日	・リバーピア庄内川
11月10日	・庄内川まつり魚釣り大会
12月2日	・守山自然ふれあいスクール
12月21日	・藤前ラムサール登録報告
15年2月6日	・カモカモウオッチング 藤前干潟
2月23日	・三河湾環境問題
3月12日	・八社小学校 講演
5月2日	・国交省 才井戸流視察
5月24日	・エコストック 矢田川・新川中橋上流
5月25日	・ //
7月3日	・白沢小学校庄内川の水生物
7月26日	・夏まつり河川コーナー
7月27日	・ //
7月28日	・愛知川交流会
8月27日	・リバーヘッド公演(ミュージカル)
9月25日	・名古屋港を見よう(名港を考える会)
11月2日	・庄内川まつり 魚釣り大会
11月3日	・リバーピア庄内川

平

成

年月日	できごと
15年12月7日	・藤前干潟立入調査
12月10日	・堀川大学 能楽堂
1月13日	・長久手との話し合い
1月25日	・伊勢湾NGOパートナーシップ会議
2月14日	・大山川の自然に親しむ会
3月6日	・庄内川下り 水分橋より
16年3月23日	・庄内川ビオトープ 春日井市役所・王子製紙
3月28日	・「ダム撤去」シンポ
4月6日	・一色干潟調査(三河湾)
4月29日	・名古屋市水質環境目標値設定にかかる懇談会
5月8日	・矢作川川会議
5月12日	・庄内川流域ネット ごみひろい
5月14日	・伊勢・三河湾市民ネットワーク
5月16日	・新川町魚類調査
5月18日	・流域ネット下水処理場見学
5月19日	・玉野発電所定期点検
5月23日	・才井戸流ビオトープ試験地草刈
6月6日	・国交省水環境一斉調査
6月12日	・中京テレビ「WAKU WAKU」取材
6月13日	・ //
6月15日	・土岐川観察
6月17日	・菜の花プロジェクト
6月21日	・伊勢・三河湾貧酸素打合せ
6月24日	・名古屋港見学会
7月4日	・「30年のあゆみ」出版についての話し合い
7月10日	・中京テレビ「WAKU WAKU」放映
7月15日	・藤前干潟第2回ごみひろい
7月19日	・矢田川浄化実験場見学
7月24日	・CBC夏まつり 河川コーナー
7月25日	・ //
7月28日	・環境大学説明会
8月10日	・志段味ビオトープ
8月20日	・引山小学校 石井式浄化槽設置
9月7日	・つゆはし作業所視察
9月18日	・天白川サミット
9月25日	・エコストック 矢田川・新川中橋上流
9月26日	・ //

## 〈入会のご案内〉

平成16年11月

「川の汚れは心の汚れ」をキャッチフレーズに河川浄化をはじめ様々な市民運動に立ち上がった「矢田・庄内川をきれいにする会」の活動も、今年でちょうど30年を迎えました。ここまで頑張れたのも皆様のご理解とご支援のおかげだと会員一同感謝しております。

「食べられない魚釣り大会」でセンセーションを起こした庄内川の魚釣り大会も「食べられるかも知れない魚釣り大会」、「いつかは食べられる魚釣り大会」、「鮎帰れ庄内川魚釣り大会」、「鮎の棲む庄内川魚釣り大会」と年を追うごとにタイトルが変わり、活動の成果を物語っています。そして数年前からは「新しい川づくりをめざす庄内川魚釣り大会」という積極的な取り組みに成長してきました。

また、今までの運動を通じて様々な環境汚染の被害者であった我々自身が、汚染を作り出す加害者でもあった事にも早くから着目し運動の中に取り入れてきました。

一貫したテーマ「次代の青少年にきれいな水とあたたかい社会」を残す為、運動は河川の浄化だけにとどまらず、水問題、ゴミ問題、ゴルフ場の森林破壊など、生活を巻きまく多くの問題に取り組んでいます。

今、30年を節目に会のさらなる活性化と運動の発展を計るため、会員を広く募集しています。ご協力をお願いします。

### 記

1. 資格 「次代の青少年にきれいな水とあたたかい社会」を残したいと思う方
2. 年会費 2,000円 入会金はありません
3. 事務局に入ってくださいの方も募っています
4. 連絡先 名古屋市守山区川西1-1304 TEL.052-794-3876  
「矢田・庄内川をきれいにする会」 会長 宮田 照由

## 〈会への30周年記念メッセージ〉

(順不同)

30周年おめでとうございます。  
今後もよりよい地域をつくるため、共に協働型で力をあわせて地域に貢献していきましょう。

国土交通省庄内川河川事務所  
事務所長 浅野 和広

水の大切さを考えると今の世は恐ろしいかぎり、今一度自然に対する恐れ、崇め、敬い、感謝する心を考えてみたい。早くきれいにする活動をせず、安心して暮らせる時が来る日を目指し頑張ろう。

北海道 魚心水心 下屋敷 牧夫

この会が大きく広がり矢田・庄内川の河川ですべての生物が共存できるといいですね。

たいへんですが頑張ってください。

勝川 隆正

地域に異変か？ と感じはじめているとき「きれいにする会」のコツコツとがんばる姿はとても輝いています。

元衆議院議員 田中 美智子

宮田さんと川を歩き語り合った3年間なつかしく思い出します。「いつまでも夢のある川づくり」を。

水資源機構 筑後川局 田所 正

「川の汚れは心の汚れ」すばらしい標語を目標に30年御苦勞様でした。其の間、行政を動かし、みんなで川を愛し釣りを楽しもう。

梶谷 久典

「地に足がついた環境問題への取り組み」を教えてくれたのが宮田さんたちでした。若アユが跳ねる庄内川をまた訪れたいと思います。

毎日新聞西部本社 福岡報道部 金田 健

“継続は力なり”矢田・庄内川をきれいにする会の活動が長い間続けられていることに敬意を表します。

神岡 浪子

「川の汚れは心の汚れ」のあざやかな呼びかけがいまも新鮮に胸にひびいています。本当に泳ぐ魚が眼に見えるほど美しい自然をとりもどしたいものです。

山田 茂里夫

名古屋の環境保全運動の先駆として会が果たした歴史的役割は計り知れない。かけがえのない地球を子供たちに！

白木 勻

矢田・庄内川は私たちのまちの環境の素顔、魚の住める川に取り戻した30年の歴史に感謝、さらなる活躍に期待。

松岡 洋文

30周年おめでとうございます。生活になくってはならない水の浄化に対する情熱、見事に花が咲きました。

丹羽さんもおよろこびでしょう。本当にご苦勞様でした。

堀場 英也



名古屋港はまるで“肥溜め”であった。きれいにするには“元”から絶たなければとの想いで出会った。

住民に親しまれる名古屋港を考える会  
初代事務局長 岡田 全弘

矢田・庄内川が名古屋の自然のシンボルとしていつまでも元気でいてほしいと思っています。

石田 晴子

「30周年の実績のもと不安定な気象に負けない安全で美しい川を守るために上流に向けた活動の展開を！」

住民に親しまれる名古屋港を考える会  
会長 中田 實

祝30周年。

次世代により豊かな川が残せるよう今後も頑張りましょう。

名古屋環境科学研究所 榊原 靖 鎌田 敏

“地域に生きた川”として残せるように心の汚れをとって、これからの活動にも協力していきます。

(株)オン 西田 達生

30周年おめでとうございます宮田会長、これからも、より庄内川をきれいにするよう言語のリハビリもがんばって下さい。

園田 明子

30周年おめでとうございます。

松原 誠

30周年おめでとうございます。川は永遠です、これからもよろしく願います。

本守 真人

今では当たり前となった行政・企業・住民の三位一体の活動を早期に掲げ、熱意ある活動を続けられていることに敬意を表すと共に感謝いたします。

国土交通省 木曾川上流河川事務所  
建設専門官 溝口 敏明

会が提唱した環境を守るための行政・住民・企業の三位一体の取り組みは今やパートナーシップ、協働という言葉となり環境運動の大きな流れです。

愛知県保険医協会 事務局 村上 誠治

いつも変わらぬご努力に感謝しています。チャコもずいぶんごぶさたで自然、お会いする機会も乏しいのが残念ですが一回飲んだつもりで貧者の一灯を。

中林 速雄

30周年記念、誠におめでとうございます。今までの御苦勞に感謝しこれからの活動に期待します。

渡辺 一雄

故郷の風景を心に刻む「持続の力」を永久にと！

守山KIDSが心の清流に刻みます。国際コメ年の恵と共に。

いい世さ来い 鳴子踊り守もり元気'S  
小縣 精

丹羽、宮田夫妻に続く若い力が欲しい。  
運動が継承されることを祈っています。

石川 雅宥

水がきれいになった、臭くなくなったという声を耳にします。

環境問題の先がけである皆さん御苦勞様です。

加藤 秋美

30年間頑張っている姿を見つめてきました。  
これからも頑張ってください。

山下 いまゑ

水がきれいであればおいしいお米はできません。皆様の努力に敬意を表します。

幸村 米穀

TEL.052-981-2172

水は命、生物にとって水はなくてはならないものです。大切にしましょう。

(有)ヤダ企画

TEL.052-796-0006

食にたずさわる者として水の大切さを実感しています、頑張ってください。

中京食材(株) 新井 登

TEL.0568-23-2201

宮田頑張れ、応援しているぞ!

昭和37年度西中卒業生 同期会

飯尾先生と仲間達

小さい頃から親しんだ庄内川、これからも活動に参加してがんばっていくぞ~。

山崎 勝一

長い間本当にごくろうさまでした。

今後共がんばってください。陰ながら応援をしています。

光阪 和子

創立30周年誠にありがとうございます。  
地域の河川美化活動の先達として更なるご発展をお祈りします。

大山川の自然に親しむ会

30周年、まずはオメデトウ。

三位一体の先駆者として益々の奮闘を期待します。「住民」参加の方向性がより鮮明になるなら、50周年が見えてくるものと思います。

王子公害をなくす住民の会 小原 政春

これからもきれいな川を維持できるよう頑張ってください。

中京食材(株) 佐藤 幸親

あの看板が我が家の前に立ち30年。

きれいになった矢田川は私の心を育ててくれました。会の未来に幸あれ!

渡辺 剛次郎

宮田さんいつも草刈り御苦勞様です。

仲野 元旦

30周年記念おめでとうございます。清流に  
しかすめない鮎が泳ぐ川にまで変えた皆  
様の御苦勞には頭の下がる思いです。河川  
の環境改善に向けお互いに頑張りましょう。  
岩倉の水辺を守る会 会長 村上 儀正

矢崎 正一	鉄崎 幹人
田中 収	五十住 博之
氏原 弘	岩村 勉
大屋 昭治	小澤 祐治
南 修 治	江口 宮雄
原田 彰好	山室 美恵子
梶田 佐登志	小林 いく子
久野 正雄	福本 忠武
村田 裕俊	大橋 雄六
川瀬 広文	深見 典克
今井 英雄	村田 佳子
松田 勇	古川 光男
浅野 光定	浅野 総一
梶田 時夫	梶田 尚子
牧野 すえ子	山崎 憲治
梅本 隆弘	落合 達也
片平 和夫	堀田 さちこ
戸谷 隆夫	平田 俊道
水野 達彦	松坂 吉昭
加茂 雄司郎	安藤 達夫
佐々木 民雄	本田 喜宏
小田 邦裕	岡本 守正

国土交通省庄内川河川事務所	尾畑 功
全日本磯釣り連盟中部支部 支部長	篠澤 英明
土岐川漁業協同組合 組合長	村松 純一郎
尾張野鳥の会	浅沼 秀夫
大森自然観察会	柴田 美子
中京食材(株)〈0568-23-2307〉	丸山 悦子
中京食材(株)〈0568-23-2309〉	遠山 潤一
オートサービスナンゴ〈052-794-8518〉	南 悟
印刷の共文社〈052-793-8872〉	平田 宗宏
中日非破壊検査(株)	高橋 正昭
(株)吉村伸一流域計画	吉村 伸一
北医療生協理事長	柘植 俊介
スナックピエロ〈052-902-0629〉	宇留賀 和子
三階橋温泉〈052-793-1410〉	本田 耕一
豊造園(株)〈052-777-2211〉	小野 天下
喫茶 あづま〈052-793-9361〉	下方 嘉純
喫茶 茶香〈052-916-0447〉	新櫛 郁子
喫茶 阿蘇〈052-914-4670〉	阿南 享生
(社)中部建設協会	
名古屋市職員労働組合	
名古屋市職員労働組合 健康福祉局衛生支部	
愛知亜鉛鍍金(株)	
(株)三 旺	
(株)優虎電気	
雨水利用と緑化を進める会	

## 庄内川浪漫

---

2004年11月3日 第1刷

監 修 宮田 明美・水野 達彦  
発 行 者 矢田庄内川をきれいにする会  
〒463-0080  
名古屋市守山区川西1丁目1304番地  
TEL.052-794-3876 FAX.052-796-2344  
社 丁 ・ 印 刷 企 画 ・ デ ザ イ ン MUSICA

---





矢田・庄内川をきれいにする会

